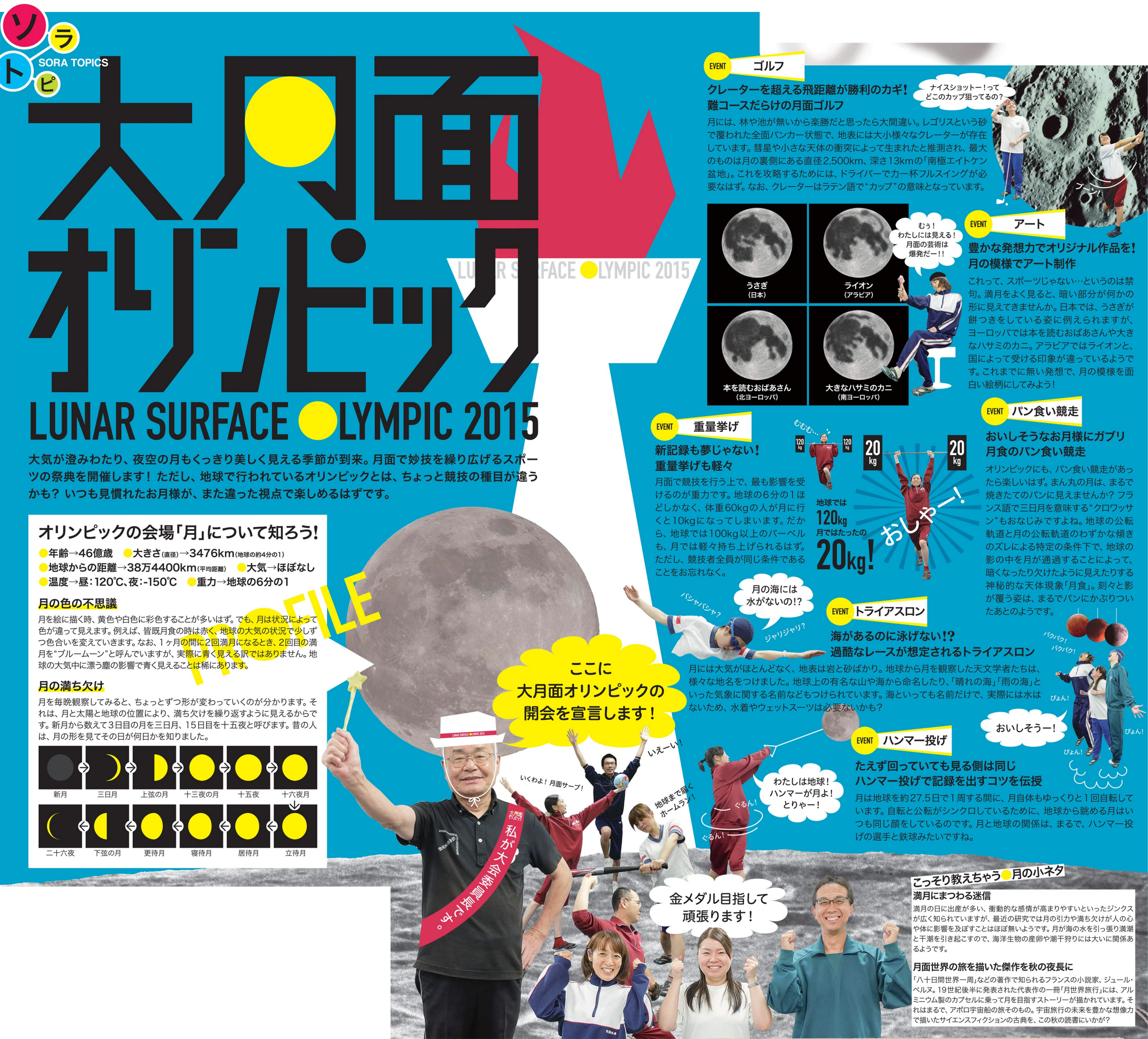




大月面オリンピック

LUNAR SURFACE ● LYMPIC 2015

大気が澄みわたり、夜空の月もくっきり美しく見える季節が到来。月面で妙技を繰り広げるスポーツの祭典を開催します！ただし、地球で行われているオリンピックとは、ちょっと競技の種目が違うかも？ いつも見慣れたお月様が、また違った視点で楽しめるはずです。

オリンピックの会場「月」について知ろう！

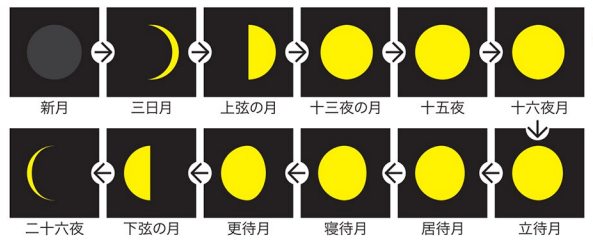
- 年齢→46億歳 ●大きさ(直径)→3476km(地球の約4分の1)
- 地球からの距離→38万4400km(平均距離) ●大気→ほぼなし
- 温度→昼:120℃、夜:-150℃ ●重力→地球の6分の1

月の色の不思議

月を絵に描く時、黄色や白色に彩色することが多いはず。でも、月は状況によって色が違って見えます。例えば、皆既月食の時は赤く、地球の大気の影響で少しづつ色合いを変えていきます。なお、1ヶ月の間に2回満月になるとき、2回目の満月を“ブルームーン”と呼んでいます。実際に青く見える訳ではありません。地球の大気中に漂う塵の影響で青く見えることは稀にあります。

月の満ち欠け

月を毎晩観察してみると、ちょっとずつ形が変わっていくのが分かります。それは、月と太陽と地球の位置により、満ち欠けを繰り返すように見えるからです。新月から数えて3日目の月を三日月、15日目を十五夜と呼びます。昔の人は、月の形を見てその日が何日かを知りました。



ここに
大月面オリンピックの
開会を宣言します！



EVENT 重量挙げ

新記録も夢じゃない！
重量挙げも軽々

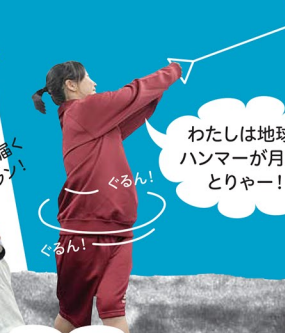
月面で競技を行う上で、最も影響を受けるのが重力です。地球の6分の1ほどしかなく、体重60kgの人が月に行くと10kgになってしまいます。だから、地球では100kg以上のバーベルも、月では軽々持ち上げられるはず。ただし、競技者全員が同じ条件であることをお忘れなく。



EVENT トライアスロン

海があるのに泳げない！
過酷なレースが想定されるトライアスロン

月には大気がほとんどなく、地表は岩と砂ばかり。地球から月を観察した天文学者たちは、様々な地名をつきました。地球上の有名な山や海から命名したり、「晴れ海」「雨の海」といった気象に関する名前などもつけられています。海といっても名前だけで、実際には水はないため、水着やウェットスーツは必要ないかも？



EVENT ハンマー投げ

たえず回っていても見る側は同じ
ハンマー投げで記録を出すコツを伝授

月は地球を約27.5日で1周する間に、月自体もゆっくりと1回自転しています。自転と公転がシンクロしているために、地球から眺める月はいつも同じ顔をしているのです。月と地球の関係は、まるで、ハンマー投げの選手と鉄球みたいですね。

金メダル目指して
頑張ります！



EVENT ゴルフ

クレーターを超える飛距離が勝利のカギ！
難コースだらけの月面ゴルフ

月には、林や池が無いから楽勝だと思ったら大間違い。レゴリスという砂で覆われた全面バンカー状態で、地表には大小様々なクレーターが存在しています。彗星や小さな天体の衝突によって生まれたと推測され、最大のもは月の裏側にある直径2,500km、深さ13kmの「南極エイトケン盆地」。これを攻略するためには、ドライバーでカーブフルスイングが必要なはず。なお、クレーターはラテン語で“カップ”の意味となっています。



EVENT アート

豊かな発想力でオリジナル作品を！
月の模様でアート制作

これって、スポーツじゃない...というのは禁句。満月をよく見ると、暗い部分が何かの形に見えてきませんか。日本では、うさぎが餅つきをしている姿に例えられますが、ヨーロッパでは本を読むおばあさんや大きなハサミのカニ。アラビアではライオンと、国によって受ける印象が違っているようです。これまでに無い発想で、月の模様を面白い絵柄にしてみよう！

EVENT パン食い競走

おいしそうなお月様にガブリ
月食のパン食い競走

オリンピックにも、パン食い競走があったら楽しいはず。まん丸の月は、まるで焼きたてのパンに見えませんか？ フランス語で三日月を意味する“クロワッサン”もおなじみですよ。地球の公転軌道と月の公転軌道のわずかな傾きのズレによる特定の条件下で、地球の影の中を月が通過することによって、暗くなったり欠けたように見えたりする神秘的な天体現象「月食」。刻々と影が覆う姿は、まるでパンにかぶりついたあとのようです。



こっそり教えちゃう●月の小ネタ

満月にまつわる迷信
満月の日に出産が多い、衝動的な感情が高まりやすいといったジンクスが広く知られていますが、最近の研究では月の引力や満ち欠けが人の心や体に影響を及ぼすことはほぼ無いようです。月が海の水を引っ張り満潮と干潮を引き起こすので、海洋生物の産卵や潮干狩りには大いに関係あるようです。

月面世界の旅を描いた傑作を秋の夜長に
『八十日間世界一周』などの著作で知られるフランスの小説家、ジュール・ベルヌ。19世紀後半に発表された代表作の一冊『月世界旅行』には、アルミニウム製のカプセルに乗って月を目指すストーリーが描かれています。それはまるで、アポロ宇宙船の旅そのもの。宇宙旅行の未来を豊かな想像力で描いたサイエンスフィクションの古典を、この秋の読書にいかが？